



ALEXANDER SCHMALCZ PIANIST

アレクサンダー・シュマルツ

多くの著名な音楽家達から絶大なる信頼を寄せられているピアニスト、アレクサンダー・シュマルツは、まだ彼が若い頃からペーター・シュライアー、エディタ・グルベローヴァ、グレース・バンブリー、アンナ・トモワ＝シントゥなどといった伝説の歌手達と共演し、傑出した才能を持つ音楽家として注目されてきた。

現在も、長年のパートナーであるマティアス・ゲルネを始めとし、ダニエル・ベーレ、コンスタンティン・ヴォルフ、ステファン・ロジェス、イネッサ・ガラント、エヴァ・メイ、レイチェル・フレンケル、チェン・ライスなどの第一線で活躍する歌手達と共に演奏するほか、室内楽分野においても、セリーヌ・モワネ、アルブレヒト・マイヤー、デイミトリ・アシュケナージ、タティアナ・マスレンコなど、多くの名手達と共演を重ねている。

これまでにザルツブルク音楽祭、シュレスヴィヒ＝ホルシュタイン音楽祭、タングルウッド音楽祭、プラハの春音楽祭、シュヴェツィンゲン音楽祭など、数々の権威ある音楽祭に招待されたほか、ミラノ・スカラ座、ウィーン国立歌劇場、ミュンヘン国立歌劇場、アムステルダム・コンセルトヘボウ、ケルン・フィルハーモニー、ライプツィヒ・ゲヴァントハウス、ヴィグモア・ホール、シャトレ座、オペラ・バステューユ、芸術の殿堂(ソウル)、東京オペラシティ、紀尾井ホールなど世界中の主要なコンサートホールにて演奏している。

バロックから現代に至る幅広いレパートリーを持つ彼の録音は、ヨーロッパの多くのレベルからリリースされ高い評価を得ると共に、バイエルン放送、南西ドイツ放送、オーストリア放送、オランダ放送、BBC、NHKなど多くの放送局により放送された。

また、彼の才能は編曲の分野においても発揮され、マティアス・ゲルネの委嘱により管弦楽用に編曲したシューベルトの歌曲は、ニューヨークのモストリー・モーツァルト・フェスティバル、ウィーン楽友協会、ドレスデンの聖母教会など数々の場で演奏され大きな反響を呼んだ。

ドレスデン出身。幼少期よりドレスデン聖十字架合唱団のメンバーとして活躍し、ドレスデン音楽大学、ユトレヒト音楽院、ギルドホール音楽演劇学校にてイアン・バーンサイドやグラハム・ジョンソンなどに師事。現在はライプツィヒ音楽演劇大学教授として後進の指導にあたるほか、世界各地のマスタークラスに招聘されている。